

はじめに

今回の調査は、主にドラマ放映の認知度と松山やその周辺地域への来訪意向などを把握することを目的とした。

IRCでは、この先、今年ドラマ放映が終了した後、認知度や来訪意向がどう変化したか、再度調査を行う予定である。さらに、実際に松山を訪れた観光客に来訪のきっかけなどを伺う調査も予定している。

アンケートの概要

調査方法：当社が運営するホームページを通じたインターネットによるアンケート
アンケート名称：「NHK スペシャルドラマ『坂の上の雲』放映関連アンケート」
調査期間：7月1日～7月15日
有効回答：2,576

回答者の属性

回答者の性別は、男性、女性がほぼ半々であり、年齢は30代が814名、31.6%で最も多く、次いで40代が632名、24.5%であった。60歳以上は201名、7.8%であった。

住所は、北海道から九州まで広く分布し、ほぼ人口分布に比例した。

回答者の属性

性別	男性	1,257名	48.8%
	女性	1,319名	51.2%
年齢	30歳未満	527名	20.5%
	30代	814名	31.6%
	40代	632名	24.5%
	50代	402名	15.6%
	60歳以上	201名	7.8%
住所	北海道・東北	273名	10.6%
	関東	951名	36.9%
	東海・北陸	414名	16.1%
	近畿	446名	17.3%
	中国	151名	5.9%
	四国（除く愛媛）	49名	1.9%
	愛媛県	72名	2.8%
九州	220名	8.5%	

1. ドラマ放映の認知度などについて

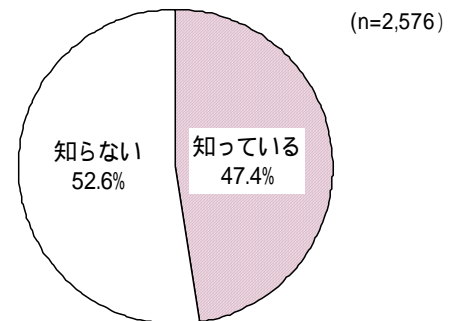
(1) 小説「坂の上の雲」の認知度

小説「坂の上の雲」を知っているか尋ねたところ、47.4%が「知っている」と答えた。

年齢別にみると、「知っている」と答えた割合は、40代以下が40～43%であったが、50代は60.4%、60歳以上は75.1%と、40代以下と50代以上で差がみられた。

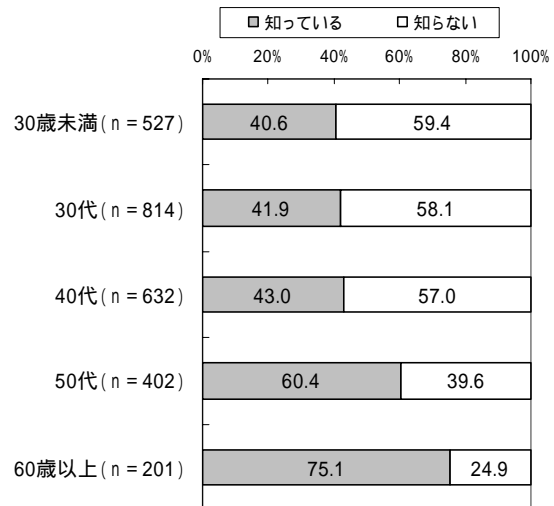
図表 - 1

小説「坂の上の雲」の認知度



図表 - 2

年齢別の小説「坂の上の雲」の認知度



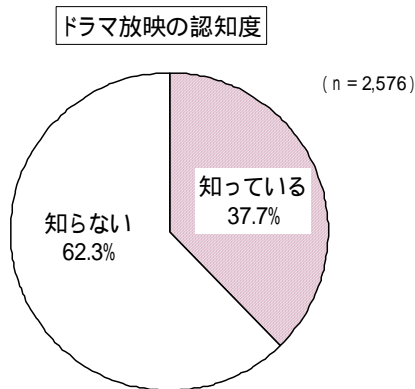
(2) ドラマ放映の認知度

今年11月からのドラマ放映を知っているか尋ねたところ、小説の認知度ほど高くはないものの、「知っている」と答えた人の割合は37.7%であった。

年齢別にドラマ放映の認知度をみると、小説の認知度と同様に40代以下と50代以上で差があり、40代以下では「知っている」と答えた割合は33%程度であったのに対し、50代は49.3%、60歳以上は56.7%と高かった。

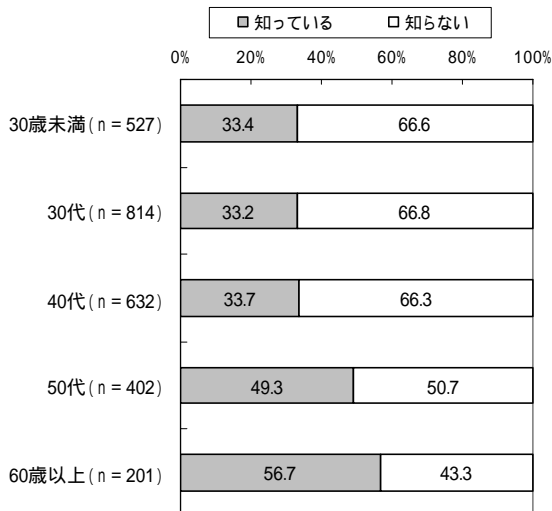
また、小説を「知っている」人に限ってみると、ドラマ放映を「知っている」人の割合は68.9%であり、一方、小説を「知らない」人では9.6%に過ぎなかった。

図表 - 3



図表 - 4

年齢別のドラマ放映の認知度



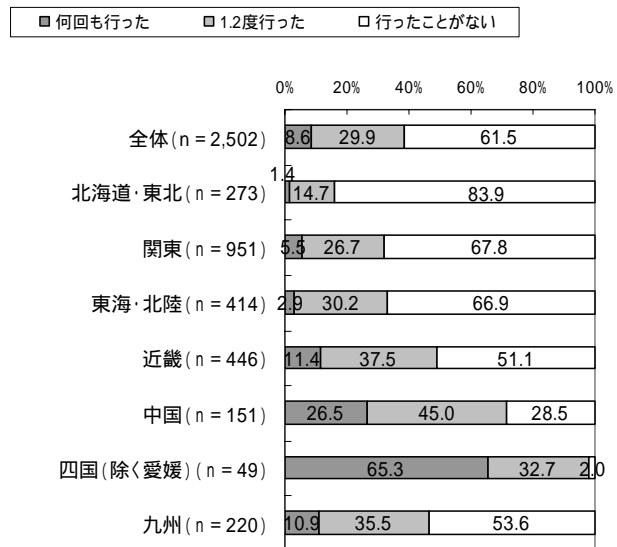
2. 松山への来訪意向などについて

(1) 松山への訪問経験

愛媛県外の人に松山を訪れたことがあるか尋ねたところ、「何回も行った」8.6%、「1、2度行った」29.9%で、合わせて38.5%、「行ったことがない」が61.5%であった。

地域別にみると、「四国（除く愛媛）」では「何回も行った」と「1、2度行った」が合わせて98.0%を占めた。他の地域では、「中国」で「何回も行った」と「1、2度行った」が合わせて71.5%と比較的高い割合であったが、「東海、北陸」「関東」「北海道・東北」では、「何回も行った」の割合が低く、「1、2度行った」を合わせても、16.2～33.1%であった。

図表 - 5 県外在住者の松山への訪問経験



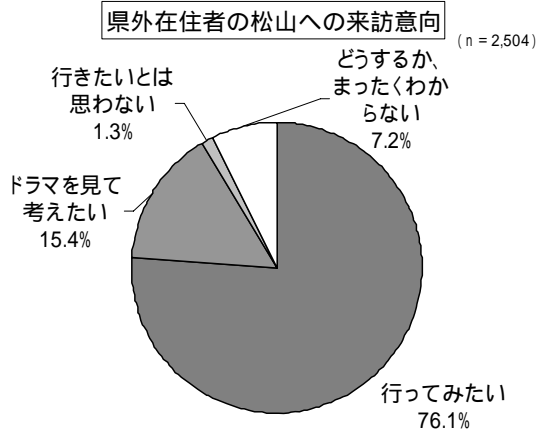
(2) 松山への来訪意向

県外在住者の松山への来訪意向を尋ねたところ、「行ってみたい」が76.1%と高く、地域別にみると、「行ってみたい」の割合は、「近畿」で76.6%、「関東」で76.1%、「北海道・東北」で68.2%と、どの地域とも70～80%程度あり、距離の遠い近いによる差はあまりなかった。

一方、「ドラマを見て考えたい」は15.4%

あり、地域別では9.3～21.6%とやや幅があるものの、ドラマ効果が期待できそうである。

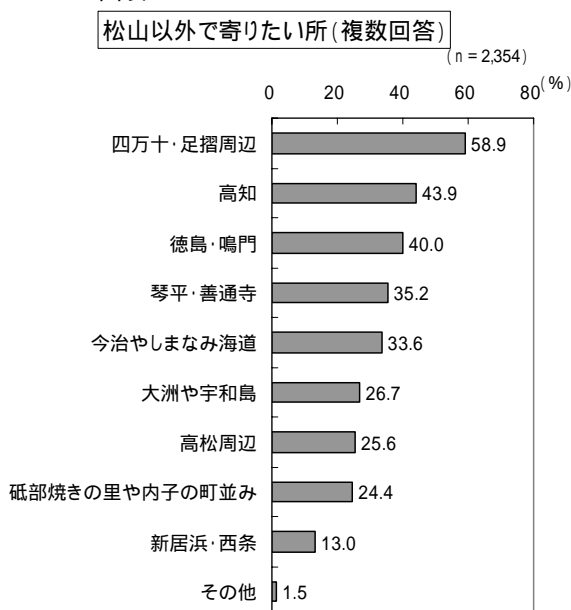
図表 - 6



(3) 松山以外で寄りたい所

松山に来訪した場合に、松山以外で寄りたい所を尋ねたところ、「四万十・足摺周辺」が58.9%と最も多く、「高知」が43.9%、「徳島・鳴門」40.0%と続き、愛媛県内の観光地より四国他県の主要な観光地が上位を占めた。「関東」や「北海道・東北」などの遠隔地の人ほど、「四万十・足摺周辺」や「徳島・鳴門」を挙げる割合が高く、四国の主要な観光地を巡りたいという広域観光のニーズが強かった。

図表 - 7

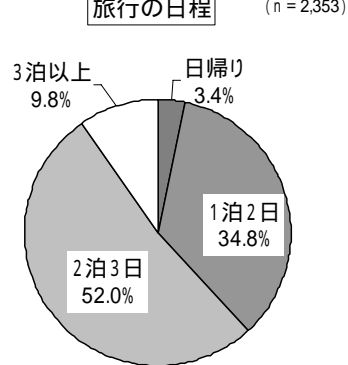


(4) 旅行の日程

松山に来訪した場合の旅行の日程は、「2泊3日」が52.0%と最も多く、次いで「1泊2日」が34.8%であった。

地域別では、「東海・北陸」以北と「九州」では「2泊3日」が、「近畿」「中国」「四国(除く愛媛)」では「1泊2日」が最も多かった。

図表 - 8



おわりに

ドラマ放映を「知っている」と答えた人は37.7%と、ドラマ放映のPRが主に愛媛県内で行われている段階としては、まずまずの認知度と思われる。ただし、今回のアンケートでは、名称を「NHKスペシャルドラマ『坂の上の雲』放映関連アンケート」としたため、「坂の上の雲」に関心を持つ人の回答が比較的多く、「知っている」割合を押し上げたとも考えられる。

今回のドラマ放映は、現在のところ比較的年齢の高い、小説「坂の上の雲」のファンに関心を持たれているようであり、年配者を中心に松山やその周辺への来訪が期待できそうである。全国的には松山を訪れたことのない人が多い中で、松山や四国を訪問したいという潜在的な思いは強いようであり、ドラマが放映され、人気を呼べば、来訪者が増加することが期待できそうである。

(黒田 明良)